

平成 27 年度 研究計画書

Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化 助教
氏名 Name	儀利古 幹雄
専門分野 Academic Field	言語学

平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	鳥取県倉吉方言における音声的变化				
研究計画 Research Plan	<p>27 年度は、鳥取県倉吉方言で起こっている音声変化の中でも、特に initial lowering の変化に関する予備調査を実施する。Initial lowering とは、単語を発話する際に最初の音が低くなり、その結果語頭のピッチパターンが「低高」となる現象である。倉吉方言では伝統的には initial lowering は生じないとされているが、若年層では著しいアクセント変化も観察されるため、initial lowering が生じるようになるような音声変化が起こっていても不思議ではない。今年度は、世代が下るに連れて initial lowering の生起頻度が高くなるという仮説のもとに、倉吉方言話者を対象とした発話調査を実施する。また、この予備調査で得られた結果をもとに、上記の仮説がどの程度支持されるのかを観察した上で、調査のデザインを組み直したり、調査の軌道修正を行ったりする。計画が予定以上に早く進行した場合には、倉吉方言話者およそ 20 名を対象とした本調査を実施する。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research					
キーワード Keywords	音声	変化	アクセント	日本語	方言